

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支 援 部 門 まち-06 交通体系整備事業										
主管課	交通計画課				関連課						
分野名	総合交通										
目標 (目標値)	古都鎌倉の歴史的環境の保全を活かしつつ、交通体系の改善に向けた取組を推進する。										
人口等のデータ	データ区分	25年度			24年度			23年度			備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)
	人 口	177,895人			177,224人			177,204人			
	世 帯 数	80,295世帯			79,669世帯			79,217世帯			
	事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	16,684			8,399			10,395			
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	16,684			8,399			10,395			
	人員配置数	2.5人			2.5人			2.6人			
	人 件 費(千円)	18,867			19,731			22,156			
	協働のパートナー	交通事業者 交通管理者			交通事業者 交通管理者			交通事業者 交通管理者			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	35,551			28,130			32,551			
	市民1人当りの経費(円)	200			159			184			
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒										
指 標		評価	年度	22年度	23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度)
鎌倉地域の慢性的な交通渋滞の緩和に向けた取組		○	目標値	—	交通計画検討委員会の開催		交通計画検討委員会の開催・市民アンケートの実施		交通計画検討委員会の開催		交通計画検討委員会の開催
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			実績値	—	シンポジウム及びワークショップの開催		交通計画検討委員会の開催・市民アンケート等の実施		交通計画検討委員会の開催		

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止							
交通体系整備事業	16,684	交通体系整備事業	12,519	今後の方向性	A	理由・手法	検討委員会の進捗状況に合わせ、社会実験等を実施した後、施策の実現をめざす。(更なる財源については、国の補助等の活用を検討する。)				
				今後の方向性		理由・手法					
				今後の方向性		理由・手法					
				今後の方向性		理由・手法					
				今後の方向性		理由・手法					

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・休日の鎌倉地域では、目に見えて交通渋滞が解消されていないため、市民意識にもその効果が現れていない状況である。												
課題解決のための取組	・鎌倉地域の交通渋滞の解消に向け、「鎌倉市交通計画検討委員会」を3回、同委員会専門部会を6回開催し、地区交通計画の見直し検討を行った。 ・その中で、新規循環バスの社会実験について検討を行い、平成26年5月の実施に向け、関係機関と協議を行うとともに、検討委員会において、自動車交通の抑制策(ロードプライシング)について、検討を始めた。							取組の結果		□解決 ■未解決			
未解決の課題	・休日の鎌倉地域では、目に見えて交通渋滞が解消されていないため、市民意識にもその効果が現れていない状況である。 ・「鎌倉市交通計画検討委員会」で、平成25年度から検討を始めた自動車交通の抑制策は、事業者等を含めた市民の合意形成や法令等の整備、課金方法、実施に伴う費用、近隣市との調整など様々な課題がある。												
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)			➡		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・「鎌倉市交通計画検討委員会」で地区交通計画の見直し検討を行い、交通需要マネジメント施策の社会実験を重ねながら効果や課題を検証して、交通渋滞解消に向けて取り組む。 ・都市マスタープランの改定を踏まえ、その内容を反映させた交通マスタープランの改定を行う。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡		A			
※□事業完了													

評価者名

交通計画課長

宮崎 隆

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
交通体系整備事業	鎌倉地域の慢性的な交通渋滞の解消に向けて、鎌倉市交通計画検討委員会及び同専門部会を開催 JR北鎌倉駅のバリアフリー化に伴うエレベーター設置工事が平成25年度末に完了し、補助金の執行を行った				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
		1030	交通計画検討委員会委員報酬 23人	792	475	○	○	○	○
		1030	交通政策専門員謝礼	102	0	○	○	○	○
		1030	鎌倉地域地区交通計画支援業務委託料	7,875	7,875	○	○	○	○
		1030	交通社会実験実施事業委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	○	○	○	○
		1030	会議室使用料	0	1	○	○	○	○
		1030	北鎌倉駅舎エレベータ設置補助金	16,666	8,333	○	○	○	○
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
※□ 事業完了									